



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月25日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画担当部長 (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	56,490	△3.4	3,882	△49.2	4,048	△45.2	3,045	△43.3
2023年3月期第3四半期	58,478	44.1	7,639	91.8	7,388	92.0	5,372	99.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,994百万円(△41.9%) 2023年3月期第3四半期 5,153百万円(92.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	42.79	—
2023年3月期第3四半期	75.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	122,116	54,495	44.5
2023年3月期	111,429	53,281	47.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 54,360百万円 2023年3月期 53,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	19.00	30.00
2024年3月期	—	6.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 3円00銭(創立70周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	0.4	4,800	△55.1	5,000	△52.5	4,100	△45.4	57.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	71,270,910株	2023年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	98,761株	2023年3月期	98,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	71,172,266株	2023年3月期3Q	71,172,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費が堅調に推移し回復が継続する一方、物価上昇の影響で景気の持ち直しには一服感が見られました。

世界経済は、物価上昇率はピークアウトの動きがみられるが依然として水準は高く、インフレ抑制のための各国中央銀行による金融政策が景気回復の下振れ要因となりました。

長期化する世界的な金融引き締めの影響や、中東地域をめぐる情勢、中国経済の先行き懸念などの海外経済の減速による下振れ要因に加え、物価上昇を背景とする個人消費の落込みやコスト高による設備投資の抑制等により景気回復ペースの鈍化が懸念されています。

当社グループを取り巻く事業環境は、チタン事業においては航空機向け需要の回復に加えウクライナ紛争に起因するロシアからの調達回避もあり、製品販売は引き続き堅調に推移しましたが、触媒・化学品事業においては海外の景気低迷長期化等により販売は低調に推移しました。一方、為替円安による収益改善の効果はあるものの、コスト面では、輸入原材料・副資材コストの高止まりが、収益を大きく圧迫する要因となりました。

こうした中、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高564億90百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益38億82百万円(同49.2%減)、経常利益40億48百万円(同45.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益30億45百万円(同43.3%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

金属チタン事業

当第3四半期連結累計期間における金属チタンの販売は、航空機向け、一般産業用途向け需要は引き続き堅調に推移したものの、前期まで寄与していた製品在庫の取崩しが一巡したことに加え、半導体向け高純度チタンの需要減速により、販売量は前年同期を下回る水準となりました。

収益面については、販売価格は正はるものの、販売量の減少に加え、原料鉱石、電力価格及び副資材費の高騰によるコスト上昇の顕在化を主因に、同期間の金属チタン事業は、売上高は423億27百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は26億12百万円(同41.4%減)となりました。

触媒事業

当第3四半期連結累計期間における触媒事業の販売は、世界的なポリオレフィン用触媒の需要軟化により、販売量は前年同期を大幅に下回る水準となりました。こうした状況に加え、新工場稼働による固定費増の影響もあり、同期間の触媒事業は、売上高は54億78百万円(前年同期比14.4%減)、営業利益は15億92百万円(同25.1%減)となりました。

化学品事業

当第3四半期連結累計期間における化学品事業の販売は、米国の利上げや中国の経済停滞長期化の影響に伴い、主要製品である超微粉ニッケルの主な用途である積層セラミックコンデンサー(MLCC)の需要減少が継続していることから、販売量は前年同期を下回る水準となりました。加えて原材料・資材・ユーティリティ類の値上がりの影響等により、同期間の化学品事業は、売上高は86億85百万円(前年同期比29.6%減)、営業利益は9億48百万円(同52.9%減)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2024年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	42,327	39,741	6.5%
触媒事業	5,478	6,402	△14.4%
化学品事業	8,685	12,334	△29.6%
合計	56,490	58,478	△3.4%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2024年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	2,612	4,457	△41.4%
触媒事業	1,592	2,125	△25.1%
化学品事業	948	2,016	△52.9%
全社費用	△1,272	△959	—
合計	3,882	7,639	△49.2%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比106億87百万円増の1,221億16百万円となりました。

負債の部は、短期借入金増加を主因に、前連結会計年度末比94億73百万円増の676億21百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比12億14百万円増の544億95百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.7%から44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2023年10月26日)を変更しておりません。

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,416	1,915
受取手形及び売掛金	15,338	16,444
電子記録債権	117	225
商品及び製品	19,089	27,179
仕掛品	9,904	10,160
原材料及び貯蔵品	13,203	15,383
未収入金	812	758
その他	1,175	1,522
貸倒引当金	△64	-
流動資産合計	62,992	73,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,655	16,879
機械装置及び運搬具（純額）	21,794	18,842
工具、器具及び備品（純額）	360	527
土地	2,449	2,449
リース資産（純額）	1,795	1,646
建設仮勘定	3,141	5,469
有形固定資産合計	45,196	45,814
無形固定資産		
ソフトウェア	1,005	840
ソフトウェア仮勘定	-	62
その他	23	17
無形固定資産合計	1,028	920
投資その他の資産		
関係会社株式	214	220
繰延税金資産	925	489
退職給付に係る資産	439	445
その他	633	639
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,211	1,792
固定資産合計	48,436	48,527
資産合計	111,429	122,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,932	4,160
短期借入金	22,458	35,548
リース債務	211	213
未払法人税等	2,257	516
賞与引当金	2,040	1,073
役員賞与引当金	301	113
その他	2,962	4,427
流動負債合計	34,165	46,052
固定負債		
長期借入金	20,314	18,035
リース債務	1,612	1,453
資産除去債務	2,055	2,080
固定負債合計	23,982	21,568
負債合計	58,147	67,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	28,469	29,736
自己株式	△77	△78
株主資本合計	53,378	54,644
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	40	-
為替換算調整勘定	△396	△395
退職給付に係る調整累計額	124	111
その他の包括利益累計額合計	△231	△283
非支配株主持分	134	135
純資産合計	53,281	54,495
負債純資産合計	111,429	122,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	58,478	56,490
売上原価	42,695	45,579
売上総利益	15,782	10,911
販売費及び一般管理費	8,142	7,029
営業利益	7,639	3,882
営業外収益		
為替差益	-	308
物品売却益	27	35
持分法による投資利益	8	10
その他	27	50
営業外収益合計	63	405
営業外費用		
支払利息	126	158
為替差損	127	-
その他	61	80
営業外費用合計	314	239
経常利益	7,388	4,048
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	54	43
固定資産圧縮損	81	-
特別損失合計	135	43
税金等調整前四半期純利益	7,253	4,005
法人税、住民税及び事業税	968	497
法人税等調整額	914	461
法人税等合計	1,882	959
四半期純利益	5,371	3,046
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,372	3,045

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,371	3,046
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△211	△40
為替換算調整勘定	15	1
退職給付に係る調整額	△21	△12
その他の包括利益合計	△217	△52
四半期包括利益	5,153	2,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,154	2,993
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,741	6,402	12,334	58,478	—	58,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,666	—	4	1,671	△1,671	—
計	41,407	6,402	12,339	60,149	△1,671	58,478
セグメント利益	4,457	2,125	2,016	8,599	△959	7,639

(注) 1. セグメント利益の調整額△959百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,327	5,478	8,685	56,490	—	56,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,555	—	4	1,560	△1,560	—
計	43,883	5,478	8,689	58,050	△1,560	56,490
セグメント利益	2,612	1,592	948	5,154	△1,272	3,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,272百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。